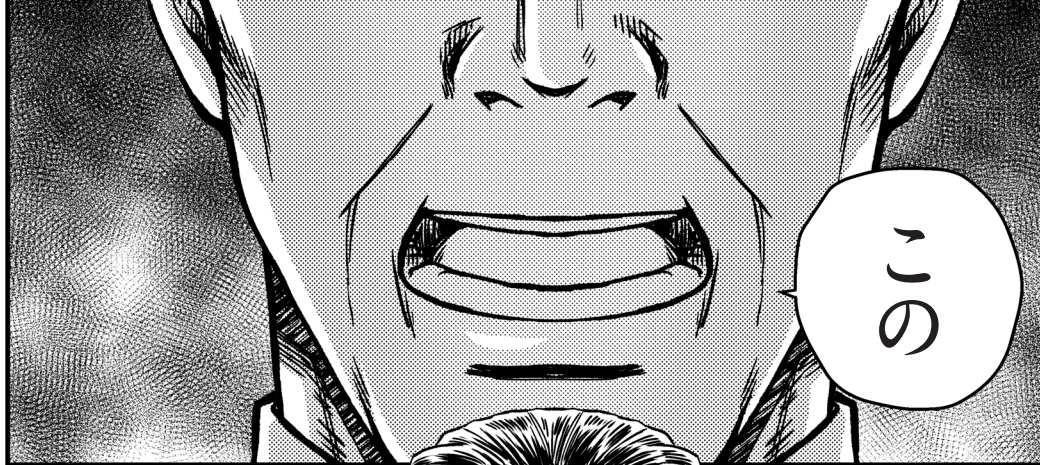


社長とは

事業を経営する人である



食器メーカーの二代目社長である加藤は、経営不振に悩んでいた。加藤は意を決して「社長学セミナー」に参加する。そこで一倉に「バカタレ!」と一喝されてしまうが、正しい「ワンマン経営」についての気迫の指導を受ける。



この

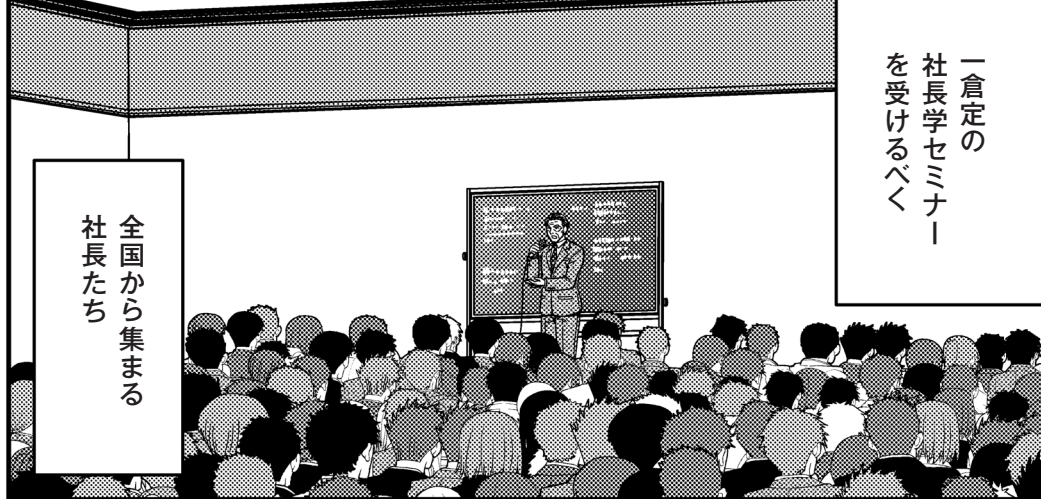


バカタレが！



一倉定の
社長学セミナー
を受けるべく

全国から集まる
社長たち



「鬼倉」という
異名を持つ
一倉は



毎回800人もの
社長が
身じろぎも
できないほど

圧倒的な気迫で
“正しい経営”を
語りつくす



事業の
本質について

基本的な
ことを忘れた
社長が多すぎる！



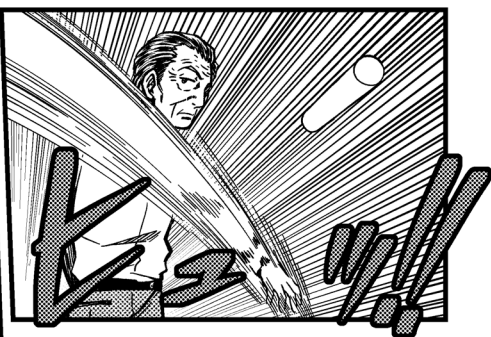
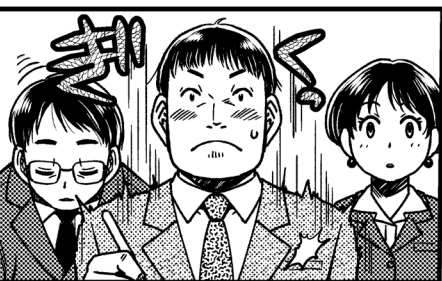
事業の
経営の本質は
市場活動である

この正しい認識を
持たないかぎり
正しい事業
経営はできない！



間違った経営
つまり内部管理に
焦点を合わせた
経営とは





セミナーが
終わっても
一倉に相談したい

社長が
列をなして
教えを乞う

新潟県
燕市から
参りました

食器メーカーの
加藤です
今回初めて
セミナーに
参加しました

先生ひとつ
アドバイスを
いただけ
ませんか

あの…

先代から事業を
引き継いだ
際にですね…

社員の成長や
能力発揮を
させるために
権限を各部署に
移してきたのです

開発

企画

営業

移す

移す

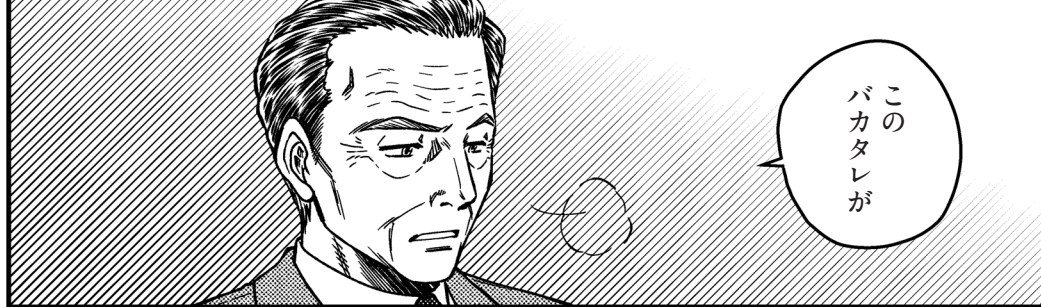
移す

権限

ですが
なかなか
思うように
動かなくて…

…
ちよっと
待て





この
バカタレが



申し訳あり
ません！
しかしどうか
教えてください

絶対に
会社を守り
たいのです

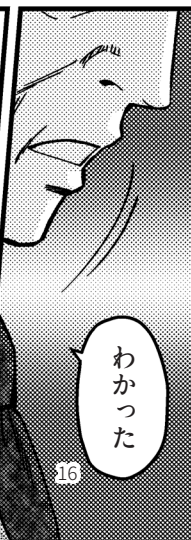
そして事業を
良くしていき
たいんです！



ありがとう
ございます！




これが
終わったら
後に残りなさい



わかつた





正しいワンマン経営
こそ事業繁栄の
本質である

事業というものは
“やり方”の上手下手で
運命が決まる訳ではない
“決定”によって決まるのだ

まず社長が
会社をどうするかの
道筋とゴールを
決める

その道程を
どうたどって
いくかが社員の
責任だ

車で行くのか
自転車か
あるいは徒歩か…
手段は社員が
決めることだ

なるほど…

今日のセミナーで
お話して
くださった

民主経営がなぜ
ダメなのかやつと
わかりました…

社員に仕事を
任せるには

まず社長が
ゴールを決定し
明確に示す
必要がある

はい

その決定
には当然

付随する
方針や
留意点も示す

そのうえで
任せることが
できた

会社は自然に
発展していく

セミナーで話した
決定権のことを
覚えているか？

確か…

110
ラララッ

会社の運命を
決める「決定」
ができるのは

◎決定権は結果に対して
全責任を負う者のみが持つ
権利である。

社長ただ
ひとりし
かないん
だ

全責任を負う
者のみが持つ
権利である

決定権は
結果に対して



後 日



はいっ！

